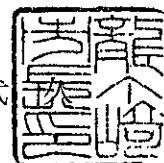




龍 都 第 78 号  
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

龍ヶ崎市長 串 田 武



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について(回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で、依頼のありましたこのこと  
については、別紙のとおりであります。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

### ●今後の道路政策や道路の整備・管理について

#### ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

##### →広域交通網の整備促進

龍ヶ崎市における広域的な道路網の整備は、茨城県南地域における東西方向の広域交流軸として、また、千葉県との南北方向の交通軸として、市民生活の利便性の向上はもとより、物流の効率化や地域振興等の面でも大きく寄与するものであると考えられ、圏央道の整備状況と併せて、その早期整備が期待されているところであります。

#### ①【国道】国道6号線バイパスの整備

→圏央道『つくば牛久IC』へのアクセス向上

→龍ヶ崎市以北の渋滞緩和と排気ガスによる大気汚染と騒音・振動等の減少

#### ②【県道】主要地方道美浦栄線バイパスの整備

→北方面は、圏央道『阿見東IC』を利用することにより、筑波研究学園都市や成田国際空港へのアクセス性が向上し、南方面では、千葉ニュータウン等へのアクセスが向上し、都市間の交流人口の増加が見込める。

#### ③【県道】(仮称) 県南広域道路 (南部横断道路) の整備

→県南地域における東西方向の広域交流軸が確保される

#### ④【県道】一般県道河内龍ヶ崎線バイパスの整備

→主要地方道美浦栄線バイパスへのアクセス性が向上する

→既存道路における危険箇所の解消による安心安全な通学路が確保できる

#### ⑤【市道】川原代小学校から関東鉄道龍ヶ崎線入地駅までの道路整備

→現況の変則化した交差点の改良による危険箇所が解消される

#### ⑥【市道】流通経済大学下の整備

→まちの活性化及び大学教育の向上を目的に、地元大学「流通経済大学」と行っている『龍・流連携』事業により、流通経済大学と中心市街地を結ぶシンボルロードとして活用される

#### ・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

→ 都心部における電車やバスと違い、当市のような地方鉄道や路線バスは、周辺人口の減少や高齢化による乗降客の減少によって、ますます経営が困難となっております。今後、日本の人口が減少し、また、併せて少子高齢化や都心回帰が急速に進行することが予測される中、単に車優先の道路整備だけではなく、バリアフリー化は当然として、安全に利用できる歩道や自転車道路の整備、また、既存又は新たな公共交通システムへの補助など、マイカーへの過度な依存社会からシフトするために、財源の適用範囲の拡大を検討していただきたい。